

問5 現状で取り組むべき最も大きな東京都の課題

その他の自由記述回答

経済政策

(25～29 歳 男性)

東京都への一極集中是正

(25～29 歳 男性)

公共事業の KPI の見直し。

(25～29 歳 男性)

不法移民や海外からの留学生などの人がビザもないのに働いていたり住んでいる人が年々多くなっていると思うのでその対策をして欲しいまた、東京で生活したり子育てするには地方よりお金がかかるので家賃補助などの補助金を出して欲しい会社の給料だけでは投資をしたり貯蓄する量に限界がある

(25～29 歳)

透明化

(25～29 歳 男性)

経済政策

(25～29 歳 男性)

東京都の日本人に向けた政策が必要

(25～29 歳 男性)

売国政治を辞めさせたい

(25～29 歳 男性)

議員への不信感の解消

(25～29 歳 男性)

後期高齢者問題

(25～29 歳 女性)

都に住む社会的マイノリティの権利の保護及び歴史修正主義的な態度の改め。以下具体例、朝鮮人追悼文の再開、差別禁止条例の制定、朝鮮学校への助成金の再開、Colabo などの民間支援団体への都の協力の再開

(18～19 歳 男性)

外国人生活保護廃止

(25～29 歳 男性)

裏金対策政治資金規正法の改正

(25～29 歳 男性)

在日外国人に対する異常な待遇の良さ、訪日外国人などへの対策。NPO・NGOなどの団体への献金など都政の無駄を指摘できるか。その他癒着の解消

(20～24 歳 男性)

過密大作一極集中対策

(25～29 歳 男性)

防災に加えてミサイル有事の避難所整備

(25～29 歳 男性)

国民の為の政治を

(25～29 歳 男性)

経済活性化政策

(25～29 歳 男性)

少子化は経済の衰退を意味していると思います。自分自身お金の面で不安があり結婚や子供を持つことに対して自信がなくなっていることから、子供を持つことに対する支援はしっかりして欲しいです。

(25～29 歳 女性)

ネット投票

(25～29 歳 女性)

交通政策。渋滞や通勤ラッシュを緩和する政策。

(25～29 歳 男性)

子育て・教育対策の付け加えになるが、これは量ではなく質の問題である。確かに少子化対策は現在日本が直面している経済的な問題に対する解答になり得る事柄だが、そもそも国土に対する人の数が過多であると考え。子育て・教育対策は国の最も大事にすべき問題であるが、思慮の欠ける人が増えるだけでは意味がない。人口の減少をある程度抑え、教育の質をあげることが最も大切な政策である。

(25～29 歳 男性)

スクラップアンドビルド

(25～29 歳 男性)

経済的格差

(20～24 歳 男性)

税公金の使途

(25～29 歳 男性)

税金の無駄金削減。東京都をより良くしないで、都政の天下り先を作ることに注力して説明責任を果たしてなく納得がいかない。

(25～29 歳 男性)

世界一のクリエイティブ都市としてのブランディング、人材育成徹底

(25～29 歳 男性)

都政の透明化都民による議会の監視

(20～24 歳 男性)

外国人対策

(25～29 歳 男性)

経済政策優秀な人材の誘致政策スタートアップ中小支援

(25～29 歳 女性)

NPO 団体等への公金の不正な利用

(25～29 歳 男性)

神宮外苑の再開発問題

(25～29 歳 男性)

癒着、不正、政治の腐敗

(25～29 歳 男性)

神宮外苑の再開発は争点にならない。宗教法人が所有する土地であり宗教法人が普段より運営しているところに行政が介入するのは宗教弾圧でもあり、逆に行政支援で神宮外苑を維持するならば宗教への優遇。国家神道を目指すのか、宗教弾圧を行うのかにつながる。

(20～24 歳 女性)

日本の首都としての経済改善

(25～29 歳 男性)

すべて

(25～29 歳 男性)

どれも重要で本来であれば順位づけはしたくありません。

(25～29 歳)

経済活性化

(25～29 歳 女性)

AI

(20～24 歳 男性)